

もっと知ってほしい、デイケアだからできること。

ほほえみ通信+

ぶらす

hohoemi



vol.11

Jan. 2021

西宮協立デイケアセンター ほほえみ
西宮市津門呉羽町10-13
TEL:0798-36-6780 FAX:0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ
西宮市津門呉羽町9-10 1F
TEL:0798-33-3501 FAX:0798-33-3502

リハビリが在宅生活を支える。

デイケアが担うレスパイトケアとは？



母の介護、
私がやらなくちゃ
誰もみてくれない…

介護の中でよく使われる言葉「レスパイトケア」(レスパイト、と省略されることもあります)。レスパイトケアは、介護する側への休息支援として、心や身体の疲れなどによって起こりうる、在宅での介護の限界を防ぐことが大きな役割です。一般的に、「デイケアは一時的なレスパイトケアを行うことができる施設」と思われることが多いかもしれません。

レスパイトケア
という支援がありますよ



じつは、デイケアでは一時的に留まらない「継続的なレスパイトケア」を行うことが可能なんです。休息支援の役割に加え、ご本人の身体能力の向上を図ることで介護量を減少させ、ご家族の負担を軽減することを目的としています。介護では、ご本人はもちろん、介護者となる方の負担感軽減も大切となります。

利用者・ご家族ともに安心&安全な在宅生活へ

一般的なイメージ

一時的なレスパイトケア

ご本人が例にあるようなサービス利用を受けることで、介護者が特定の日・時間、休息することができる。

- 例
- ・ ショートステイ
 - ・ デイサービス
 - ・ 訪問介護
 - ・ デイケア など



デイケアだからできる！

継続的なレスパイトケア

介護者、ご本人がリハビリサポートを受けることで、ご本人の生活機能、ご家族の介護技術向上などにつながる。

- ・ 飲み込みがよくなり、食事時間が短くなった
- ・ トイレ動作が1人でできるようになった
- ・ ベッドへの移乗が楽になった
- ・ 専門科に相談ができ、安心



➔ 介護量(介護負担感)の軽減

デイケア利用の実例

レスパイトケアに向けた 取り組み



対象

プロフィール

年齢：86歳
介護度：要介護2
疾患名：左アテローム血栓性脳梗塞

「入院中には伝い歩きができるといわれていたが、家に帰ってみるとトイレまで歩くことができず、困っている」と相談があった。実際、トイレまでの移動は両手引きで、重介助であった。

1

〈目標〉 移動の介助量が減る



ケアマネジャー・福祉用具専門相談員・理学療法士が自宅訪問。ベッドとトイレ間の動線に手すりが必要であることを確認。また、トイレ内にも手すりが必要であることを確認し、設置することが決まった。



2

〈目標〉 移動が1人でできる



自宅の環境調整後、デイケアでの平行棒や歩行器を使用した歩行練習を実施。自宅のトイレまでの移動が安全に行えるよう、リハビリを行った。

結果

環境調整によりトイレまでの移動の介助量が減った。



結果

1人でトイレに行けるようになり、デイケア内の歩行距離も伸びた。

3

〈目標〉 トイレ動作が1人でできる



トイレ動作では下衣の着脱が困難であったため理学療法士と作業療法士が情報共有し、立位の安定、上肢の動きの改善に向けリハビリを行った。

結果

下衣の着脱が可能となり、トイレ動作が自立した。



まとめ

自宅環境の評価後、福祉用具を導入。1人で伝い歩きができるようになったことで活動量が増えた。さらに理学療法士と作業療法士が情報共有しながらリハビリを行ったことで、トイレ動作が自立。トイレでの家族の介助が不要となった。

環境改善の上、リハビリを進めたことで、移動を含めたトイレ動作を獲得。その結果、自宅での活動性向上と家族の介助量軽減につながった。